

2011年07月29日

【新規格付】

鉄道建設・運輸施設整備支援機構

第40回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券： AA

第41回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券： AA

格付投資情報センター(R&I)は上記の格付を公表しました。

【格付理由】

整備新幹線をはじめとする鉄道の整備や国内海運の支援などの業務を担っており、運輸政策の執行機関として政策上の重要性が高い。整備新幹線の建設費用は国や自治体の補助金・負担金などで賄われており、一部の地方自治体による工事費の支払い拒否といった問題はあるが、同業務の事業リスクは小さい。第三セクター鉄道事業者向け業務や、海事勘定で行っている船舶共有建造業務は一定の事業リスクを抱えるが、国や自治体が必要な措置をとっておりリスク拡大の懸念は限定的だ。海事勘定は、2009年度にスーパーエコシップに関連して政府出資を受けたこともあり債務超過から脱却した。

2011年5月に「東日本大震災に対処するために必要な財源の確保を図るための特別措置に関する法律」が成立したことで、特例業務勘定の利益剰余金のうち1兆2000億円の国庫納付が正式に決まった。2011年度末の自己資本は大きく減少するが、年金給付などに必要な資金は会計上引き当て済みであるうえ、法律に基づく国からの補助金等による手当てもあることから、今回の国庫納付が機構の信用力に与える影響は限定的とR&Iはみている。さらに6月に「日本国有鉄道清算事業団の債務等の処理に関する法律等の一部を改正する法律」が成立、国庫納付後の残りの利益剰余金等を活用して、特例業務勘定でJR3島及び貨物会社への支援措置を実施することも決定した。制度設計によれば支援のために一時的に借り入れ等が発生する。もっとも、支援措置に伴って増加する債務は特例業務勘定の収支差で返済していける見通しになっている。特例業務勘定の収支状況を慎重に見守っていくが、建設勘定など他の勘定に負担が生じる可能性は小さいと判断している。

【格付対象】

発行者：鉄道建設・運輸施設整備支援機構

名称	第40回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券
発行額	400億円
発行日	2011年08月10日
償還日	2016年09月20日
表面利率	0.461%
格付	AA (新規)
担保・保証	一般担保
【参考】発行体格付	AA [格付の方向性：安定的]

【格付対象】

発行者：鉄道建設・運輸施設整備支援機構

名称	第41回鉄道建設・運輸施設整備支援機構債券
発行額	100億円
発行日	2011年08月10日
償還日	2021年06月18日
表面利率	1.140%
格付	AA（新規）
担保・保証	一般担保
【参考】発行体格付	AA [格付の方向性：安定的]

信用格付に関わる事項

信用格付業者 登録番号	株式会社格付投資情報センター 金融庁長官（格付）第6号 直近一年以内に講じられた監督上の措置は、ありません。
主任格付アナリスト	吉田 真
信用格付の付与について 代表して責任を有する者	神林 尚

信用格付を付与した日	2011年07月29日
主要な格付方法	政府系機関等の格付の考え方 [2011. 07. 27]

上記格付方法は、格付を行うにあたり考慮した他の格付方法とともに以下のウェブサイトに掲載しています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/methodology/index.html>

評価の前提は、以下のウェブサイトの格付付与方針に掲載しています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/ratingpolicy/RatingDeterminationPolicies.pdf>

格付符号とその定義は、以下のウェブサイトに掲載しています。

<http://www.r-i.co.jp/jpn/cfp/about/definition/index.html>

格付関係者	鉄道建設・運輸施設整備支援機構
-------	-----------------

注 格付関係者は、金融商品取引業等に関する内閣府令第三百七条に基づいて、R&Iが判断したものです。

利用した主要な情報	決算書類、個別債務に関する情報
品質確保のための措置	公認会計士の監査済みである、またはそれに準じた信頼性が確保されている決算書類であること。一般に開示された、またはそれに準じた信頼性が確保されている情報であること。
情報提供者	格付関係者

信用格付の前提、意義及び限界

R&Iの信用格付は、発行体が負う金融債務についての総合的な債務履行能力や個々の債務等が約定通りに履行される確実性（信用力）に対するR&Iの意見です。R&Iは信用格付によって、個々の債務等の流動性リスク、市場価値リスク、価格変動リスク等、信用リスク以外のリスクについて、何ら意見を表明するものではありません。信用格付は、いかなる意味においても、現在・過去・将来の事実の表明ではありません。また、R&Iは、明示・黙示を問わず、提供する信用格付、又はその他の意見についての正確性、適時性、完全性、商品性、及び特定目的への適合性その他一切の事項について、いかなる保証もしていません。

R&Iは、信用格付を行うに際して用いた情報に対し、品質確保の措置を講じていますが、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。R&Iは、必要と判断した場合には、信用格付を変更することがあります。また、資料・情報の不足や、その他の状況により、信用格付を保留したり、取り下げたりすることがあります。